



2021.4.5

No. 327

MONTHLY

れんごう



<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者

藤盛敏弘

〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 はくろうビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

北海道2区補選に勝利し、政権奪回の礎を築こう!

連合北海道は3月23日、政治センター幹事会を開催し、4月に実施される衆議院北海道2区補欠選挙の勝利に向け、組織一丸となって取り組む意思統一を図った。

本年10月に衆議院の任期切れを迎えることにより、次期第49回衆議院選挙はいつ行われても不思議ではない状況にある。

次期衆院選挙は、安倍一強政治の悪しき面をも継承した菅政権を終わらせる選挙としなければならず、その行方を占う上で2区補欠選挙は非常に重要な選挙となることを、連合神津会長、杉山連合北海道会長ともに強調し、松木候補予定者も「政治は働く者のためにある」「期待に応え

るようガンバル!」と挨拶をした。

今次補選は、北海道では初のコロナ禍での選挙となり、これまでとは違い色々な制約を受ける選挙となる。だからこそ、連合北海道に結集する各産別、そして組合員一人ひとりが全力で2区補選勝利に取り組み、第49回衆議院選挙勝利につなげ、「働くことを軸とする安心社会」を実現しよう。



松木候補予定者

〈この記事のアドレス〉

<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=5484>

松木けんこう「しあわせの土台づくり」

新型コロナウイルス感染症によって、国民生活は一変し、雇用や経済に甚大な影響を及ぼしております。新型コロナの感染拡大を防ぐには、政府の力強い支援のもと、国民の皆さまの協力が不可欠ですが、政府は補償無き「要請」を繰り返すばかりで、

国民の不安に寄り添い、応えようとする姿勢が見えません。国民の声に真摯に耳を傾けて対策を進めていけば、救えた命や避けることのできた苦境があったはず。政治の使命は、一人ひとりの国民が求めるそれぞれの幸せを育むための「しあわせの土台」をしっかりとつくることです。あらゆる智慧と力を絞り、全力を尽くして「しあわせの土台」をつくる政治を実現します。

北海道2区 -札幌市東区、札幌市北区(一部除く※)- は2017年に選挙区が改定されています

※除かれる地域(下記の地域は、北海道1区になります)

北6条西1丁目～西9丁目まで／北7条西1丁目～西10丁目まで
／北8条西1丁目～西11丁目まで／北9条西1丁目～西11丁目まで
／北10条西1丁目～西11丁目まで／北11条西1丁目～西

11丁目まで／北12条西5丁目～西12丁目まで／北13条西5丁目～西12丁目まで／北14条西5丁目～西13丁目まで／北15条西6丁目～西13丁目まで／北16条西6丁目～西13丁目まで／北17条西7丁目～西13丁目まで

2021 春季生活闘争・2区補選・総選挙勝利!

全道集会をWEB開催し、ヤマ場に向けて意志結集!

連合北海道は3月8日、「2021 春季生活闘争・衆議院北海道2区補選・第49回衆議院選挙勝利!!3.8全道総決起集会」を開催(石狩地協・札幌地区連合共催)し、2021 春季生活闘争のヤマ場(3月15日～19日)と4月13日告示の2区補選、10月までに実施される第49回衆議院選挙勝利に向けて意志結集を図った。全道各地で400人を超える組合員が視聴参加した。

■主催者代表挨拶

連合北海道2021 春季生活闘争本部の杉山元本部長(連合北海道会長)は、この20年間で格差拡大、平均賃金

が下がり続けているとして、2021 春季生活闘争では「この危機を乗り越える営みを労使が率先して取り組むことが必要」と述べ、「感染症対策と経済の自律的成長の

両立、社会の持続性の実現に向けて賃上げの流れを継続させ、格差の是正、底上げ・底支えとサプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配、働き方改革の推進に取り組もう」と呼びかけた。



また、選挙に関しては、「多くの国民がコロナで疲弊している中、自助を強調する菅政権に国民の命と日本の政治を任せるとはいかない」と指摘し、「働く者・生活者の命と暮らしを守る政治の実現に向け、推薦候補者全員の勝利をめざして取り組む」と決意を述べると共に、2区の補欠選挙は前哨戦になるとして、各組織の取り組みを要請した。

■方針提起

春季生活闘争のヤマ場を向かえるにあたって藤盛事務局長が情勢や闘い方等、連合北海道の方針を提起した。藤盛事務局長は「2021春闘は総合生活改善闘争と位置づけ、国民生活の維持・向上をはかるため、労働組合として社会・経済の構造的な問題解決をはかるけん引役を果たす闘いとしなければならない」と強調。経済団体等への要請をはじめ北海道の取り組み経過と共に、連合本部が集約している交渉状況など



についてふれ、「コロナ禍の影響が業種・業態により大きく異なるため、例年以上に交渉状況にも幅が見られる。業績が厳しい企業においては、経営側は極めて厳しい姿勢を示している」と、これまでの交渉状況について報



集会の様様をYoutubeで発信

告した。北海道においても今後、15日から先行組合の第一のヤマ場、22日からは第2先行組合のヤマ場、続いて中堅・中小の集中回答ゾーン、4月の解決促進ゾーンと続くが、「連合北海道としても最後まで構成組織・地域が一丸となって闘いを進める」と決意を述べると共に、「2区補選、第49回衆議院選挙での推薦候補完勝をめざしてがんばろう」と組合員の総結集を強く訴えた。

続いて2区補欠選挙に立候補を予定している連合推薦の松木けんこうさんから決意表明を受け、荒木副事務局長が集会アピールを読み上げ、春闘・補選・総選挙勝利に向けて粘り強く闘い抜こうと決意を固め合った。

補選に向け決意を述べる松木けんこうさん



働く皆さんのため頑張りたい。「ゼロコロナ」を実現するために、思い切った財政措置で押さえ込むことが必要。働く皆さんに支えていただき、しっかりと闘い抜きたい。

<この記事のアドレス>

<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=5436>

パート労働者等の処遇改善、 新卒者対策の強化を北海道労働局へ要請

連合北海道は3月5日、北海道労働局に対して「すべての労働者の賃金・労働条件改善等に関する要請書」を提出し、パート労働者等の均等待遇の実現や新卒者対策の強化、労働関係法令遵守の徹底等を求めた。

要請書の提出に際して連合北海道の杉山会長は、「経済の回復・成長、働く者の暮らしや生きがいにつながるためにも、賃上げの流れを継続させ、あらゆる格差の是正と底上げ・底支えに取り組む」との連合方針を説明。

春闘の柱の一つとして取り組んでいる働き方改革では、4月から中小企業にも「同一労働・同一賃金」が適用されることにふれ、春闘期前段で全道で実施した「社会的キャンペーン」で各地の経済団体へ要請をした際に、取り組みの遅れが危惧されたとして、「キャリアアップ助成金等の制度が浸透していない。ホームページやパンフレットでは限界がある。地域の経済団体との連携した取り組



要請書を手交する杉山会長(右)、上田労働局長

みも必要だ」と指摘した他、「36協定の締結や無期転換ルールが適正に運用されていない。引き続き、労働行政と

しての指導体制や監督強化を図ってほしい」と要請した。また、新型コロナウイルス感染症の影響により在籍型出向で雇用を維持する場合の助成金として新たに創設された「産業雇用安定助成金」について、道が昨秋から「異業種チャレンジ奨励事業」を展開していることから、双方の連携で効果が高まるとして、今後設置される「在職出向等支援協議会」の設置にあたっては、振興局単位での設置を検討するよう求めた。

これに対して北海道労働局の上田局長は「コロナ禍で1年間様々取り組んできたが、先が見えない。労働行政の取り組みにも大きな影響が出ている。今までのやり方を変えなければならない」として、「働き方改革を中小企業に周知するのも課題。新年度から振興局を起点にセミナー、法律相談などできないかと考えている」と道との連携で取り組むことを明らかにした。また、今後、休業者の労働移動が大きな課題となってくるとして、「ハローワークと産業雇用安定センターが連携して力を入れてやって

いきたい」と述べた。新卒者対策については、求職者に人気が高かった製造業、ホテルが厳しい状況にあることから、「ハローワークで全力で支援しているが、昨年までの高い水準に及ばないのではないか」との見通しを示した。

意見交換では、坪田総合政策局長から「ほっかいどう若者応援プロジェクト」を通じて、アルバイト学生はコロナによる営業時短要請に伴いバイトが無くなったり、カットされているが、休業手当に関して経営者も学生も大学担当者も知らない実態があると指摘し、「制度等の周知を大学へもお願いしたい」と求めた他、コロナ禍で増加する自殺や引きこもりといった「孤独・孤立対策」に関して道の対策、取り組み内容について情報提供を求めた。齊藤副事務局長からは「コロナによりあいまいな雇用が増えてきている。連合はベルコ問題に取り組んでいるが、労働局も注視してほしい」と要請した。

〈この記事のアドレス〉

<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=5431>

賃金改善、パート労働者等の均等待遇を求めて 経済団体へ要請

連合北海道は3月2日、札幌市内で経済5団体(北海道経済連合会・北海道商工会議所連合会・北海道商工会連合会・北海道経済同友会・北海道中小企業団体連合会)に対して今春闘における連合の考え方を説明すると共に、賃金引き上げや雇用の安定・確保、長時間労働の是正をはじめとして、5分野36項目の実現を強く求めた。

連合北海道の杉山会長は、コロナ禍で特に派遣、有期、契約等の労働者は雇用と生活の危機に瀕していると指摘し、「働く者、生活者の命と暮らしを守るために各種給付金、支援金の継続・緩和が急務だ」と強調した。2021春季生活闘争では、「経済の回復・成長、組合員の暮らしや働きがいにつながるため、賃上げの流れを継続させ、すべての働く仲間の総労働環境改善に向けて取り組む」と述べて、連合方針に理解を求めた。また、4月から中小企業にも「同一労働・同一賃金」が適用されることにふれ、春闘期前段で全道で実施した「社会的キャンペーン」で各地

の経済団体へ要請をした際に、取り組みの遅れが危惧されたとして、ワークルールの遵守に向けた経済団体の引き続きの取り組みを要請した。



道経連の真弓会長(左)に要請書を手交する杉山会長

これに対して経済団体を代表して挨拶した北海道経済連合会の真弓会長は、賃金引き上げに関して、コロナ禍によって企業間の経営環境や収益の差がさらに顕著になっているとして、「まずは事業継続と雇用維持を最優先し、自社の実情に適した賃金決定を行う必要がある」と、経団連の「2021年版経労委報告」と同様の考えを示した。



感染拡大防止のため人数を絞って実施した関係で非専従役員を代表して出席した森下副会長(運輸労連)は、4.5%9,500円の賃上げ、長時間労働の是正などの産別方針を説明するとともに、人手不足などの課題を報告し、「物流コストを削らずに、全産業平均になるよう適正な運賃を考慮し、労働の対価として

働く者が納得できる賃上げを」と求めた。

この他、2月上旬に北海道大学の学生を対象に、一人暮らしの学生等に食の支援をと実施した「ほっかいどう若者応援プロジェクト」の意義や第1弾の取り組み経過を

紹介し、今後、全道展開するにあたって、経済界の理解と協力を求めた。

〈この記事のアドレス〉

<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=5423>

2021春季生活闘争3.8国際女性デー 全国統一北海道集会を開催

連合では3.8国際女性デーの取り組みを春季生活闘争の一環として位置づけ、全国統一行動を展開している。連合北海道も3月6日WEBにより集会を開催し、8産別3地区のほか、女性委員会を含む42名が参加した。

開会のあいさつでは、連合北海道女性委員会の金子ユリ委員長が「今春闘では、あらゆるハラスメント対策に加えコロナ禍での誹謗中傷等、職場での現状把握と差別禁止の取り組み徹底を訴えている。連合では労働者自身をさす『非正規労働者』という言葉を使用しないなど『非正規』呼称の考え方を示している。同じ職場で働く仲間が雇用形態の違いや女性であることで分断されることのないよう運動をすすめよう」と呼びかけた。

つづいて、弁護士の上田絵理さんから「女性にとっても働きやすい社会へ」と題し、講演していただいた。講演では、コロナ禍での非正規雇用や雇止め、DVをはじめ、選択的夫婦別姓、セクハラなど女性が直面する問題について提起された。日本は、労働力不足を「男性の長時間労働」と「女性の家事・育児」という分業で補うことで経済成長を遂げた成功体験をそのまま引き継いでいる現状があり、女性の非正規労働化が進んだ背景がある。不合理な処遇は法律で判断されるが、すべてが認められるわけではなく、有期雇用の待遇改善を図ることで正規雇用につなげることが、女性の社会進出に大事なポイントであると話された。改めて注目されている選択的夫婦別姓については、夫婦同氏制が合憲としつつも女性裁判官3名から憲法第24条に違反するとの意見が出された最高裁判例があり、実現すればアイデンティティの維持やキャリア形成、氏名変更手続きの緩和が図られること、「家族」尊重を個人に押し付けるような憲法改正草案への懸念などから、一定の形にするためにも早く議論を進めるべきと話された。各種ハラスメントは、法律により規制が強化されてきたが、パワハラやセクハラは、法律により規制が強化されてきたが、パワハラやセクハラの判断基準が難しいことや、親族間のセクハラな



どから、「被害者が声をあげることが苦しい」という新たな問題もある。また、女性特有のマタハラについては、厚生労働省ホームページ「明るい職場応援団」に掲載されている動画が紹介され、職場での理解が進んでいない現状から、気持ちが晴れないまま家庭か職場か選択を迫られている実態が話された。これらの様々な問題は、個人の問題ではなく社会の在り方の問題であり、女性の地位を確立するためにも、今一度社会がどうあるべきかを考えていく必要があるとお話された。

今回の上田絵理さんの講演を通して、私たちが安心して働き暮らすことのできる職場・社会をつくるためにも、声を上げ議論する機会をつくるのが大切だという思いを共有することができた。

国際女性デーには、賃金・労働条件の向上を表す「パン」と女性の尊厳・人権の確保を表す「バラ」をシンボルに世界各国で様々な行動が展開されている。この集会から全道にむけて、すべての女性たちの権利やはたらく女性の賃金向上が実現されるように、2021スローガン「真の多様性を認め合う！誰一人取り残される事のない『フェアワーク』の実現を！」を掲げ、連合北海道女性委員会としても、今後の取り組みを進めていく。

〈この記事のアドレス〉

<http://www.rengo-hokkaido.jp/whatsnew14/?p=5445>



4月の主な動き

イベントカレンダー

■15日(木) 13:30/WEB

中央執行委員会

■22日(木) 10:15/ニューオータニイン札幌

第6回執行委員会

■22日(木) 13:00/ニューオータニイン札幌

組織・財政特別委員会第2回小委員会

■22日(木) 14:00/ニューオータニイン札幌

第6回地協事務局長会議